

2. 成果重視の施策展開

政策評価を予算の効率化等に適切に反映させるとともに、社会資本ストックの戦略的維持管理と総合的なコスト構造改善の推進、ハードとソフトの連携、PFI手法の活用により、成果目標の達成に向けて効率的な施策展開を図る。

《政策評価の的確な実施と予算への反映》

- 所管行政全般にわたって設定した、13の政策目標、46の施策目標、236の業績指標に基づき、事後評価（政策チェックアップ）を的確に実施し、概算要求に適切に反映した。平成22年度予算概算要求に係る新規施策については、必要性、効率性、有効性の観点等から、49件の事前評価（政策アセスメント）を実施した。

《社会資本ストックの戦略的な維持管理による安全・安心の確保と総合的なコスト構造改善の推進》

- 高度経済成長期に集中投資した社会資本の老朽化が進行し、今後必要な維持管理費、更新費が急増するため、従来の事後的管理から予防保全的管理への転換を推進し、災害や事故等から国民の生命と財産を守り安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化等を図ることによりライフサイクルコストを縮減する。

＜具体的取組＞

- ◇ 各管理施設について、長寿命化計画の策定を推進するとともに、策定した計画に基づき「早期発見・早期補修」を行う予防保全を推進する。特に、下水道施設について、都市機能の保全を図るため、DID地区(※)における老朽下水管路の点検・調査、ターミナル駅の周辺などの都市機能集積地区における老朽下水管路の長寿命化を考慮した改築を支援する補助制度を創設する。

※ DID地区:人口集中地区。総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域。

- 良質な社会資本を効率的に整備・維持するため、VFM(※)最大化を重視し、コストと品質の両面からの施策を充実させた「総合的なコスト構造改善」を推進する。

※ VFM:Value for Moneyの略。経済性にも配慮しつつ、公共事業の構想・計画段階から維持管理までを通じて、投資に対して最も価値の高いサービスを提供すること。

《ハードとソフトの連携》

- 国土交通省の幅広い行政分野や多様な政策手段を活かし、ハード・ソフト施策を一体的に実施することにより、成果目標の効果的な達成を実現する。

(連携事例)

- ・ **ゲリラ豪雨等局所的な集中豪雨から地域の安全安心を守る取組の推進**
 - 〈ハード〉 都市部における地下河川や調整池等の整備による浸水対策の実施
 - 〈ソフト〉 高精度に降雨情報等を把握・予測し、地先レベル（郵便番号毎）での対応が可能となるきめ細やかな防災情報の提供、局地的な大雨等に対する安全知識の普及啓発
- ・ **地球温暖化への適応策など総合的な津波高潮対策の推進**
 - 〈ハード〉 地球温暖化によって増大する災害リスクを見込んだ海岸保全施設の整備、津波・高潮に関する防災ステーションや漂流物から背後地を防護する海岸保全施設の整備
 - 〈ソフト〉 河川等の土砂管理における観測と連携した海岸の土砂流量の観測や、沿岸域の地形等の観測、高潮・高波による越波や浸水の予測や危機管理情報を提供するシステムの整備、津波・高潮ハザードマップ作成支援
- ・ **環境対応車を積極的に活用した次世代低炭素自動車交通社会づくり**
 - 〈ハード〉 環境対応車に対応したまちづくりを推進するための走行空間やエネルギー充電施設を備えた駐車スペース等インフラ整備の促進
 - 〈ソフト〉 環境対応車の導入促進(低公害車導入等補助)、社会実験等を通じた地域交通及び物流の革新を促す新たな実用車両の開発促進、自動車運送事業者によるCO₂削減努力を定量化・可視化するための手法の開発
- ・ **海上交通の維持・活性化**
 - 〈ハード〉 離島航路・フェリーにおける就航率の向上、船舶大型化等のための港湾施設の整備
 - 〈ソフト〉 離島航路の維持・構造改革に対する支援、フェリー・内航海運の省エネ化等による運航効率化、ビジネスモデル転換による利便性向上等の取組に対する支援

《PFI手法の活用》

- 民間の能力・資金を活用し、効率的かつ効果的に社会資本を整備・管理する観点から、東京国際空港国際線地区等において、PFI手法による整備等を引き続き行う。PFI手続の明確化等、地方公共団体におけるPFIの導入を積極的に推進する。